

【小論文】

別添の文章は、渡邊雅子『論理的思考とは何か』（岩波新書〔新赤版〕、2024年）から抜粋したものである。これを読み、下記設問に簡潔に答えなさい。

※各自で解答用紙に設問番号を記入して解答すること。

設問1 演繹的推論（その代表が三段論法である）とは、何から何を導き出すための論証であると述べられているか。

設問2 説得（レトリック）と演繹的推論との最も大きな違いは何といわれているか。

設問3 裁判所が三段論法を用いて法的判断（推論）を行うことができるのは、いかなる前提があるからか。

設問4 次の三段論法に関する問いに答えなさい。

(1) 命題①動物ならば命があると、命題②人間ならば動物である、が正しいとき、確実にいえるものはどれか1つ選びなさい。

- ア 人間ならば、命がある。
- イ 命があれば、人間である。
- ウ 動物ならば、人間である。
- エ 人間でないならば、命がない。
- オ 人間でないならば、動物でない。

(2) 次の三段論法のうち、誤っているものはどれか1つ選びなさい。

- ア ①全ての人間は死ぬ存在である。②全ての日本人は人間である。③よって、ある日本人は死ぬ存在である。
- イ ①全てのイヌは有毛生物である。②あるイヌはペットである。③よって、あるペットは有毛生物である。
- ウ ①全ての楽しみは宿題ではない。②ある読書は宿題である。③よって、全ての読書は楽しみではない。
- エ ①全ての爬虫類は有毛生物ではない。②全てのトカゲは爬虫類である。③よって、全てのトカゲは有毛生物ではない。